

湯沢市の少子化を止めるために

1 - a 班

柴田 光基 高橋 來朋 沓澤 愛葵
押切 宗大 武田 なな花 斎藤 水涼 高橋 晃幹

現在の湯沢市の子育て支援について

調べてみると湯沢市では様々な子育て支援が行われていた

- オンライン子育て相談

※オンラインミーティングアプリ「zoom」を使って自宅にいながら、保健師・栄養士 に子育てに関する疑問や悩みについて相談できる取り組み

- 第3子以上からの育児費用の助成
- 子育てシェアリング事業
- 乳児全戸訪問事業

など

アンケートの内容

湯沢高校の1年生と保護者の方に湯沢市の子育て支援についてのアンケートをとった。

質問の内容

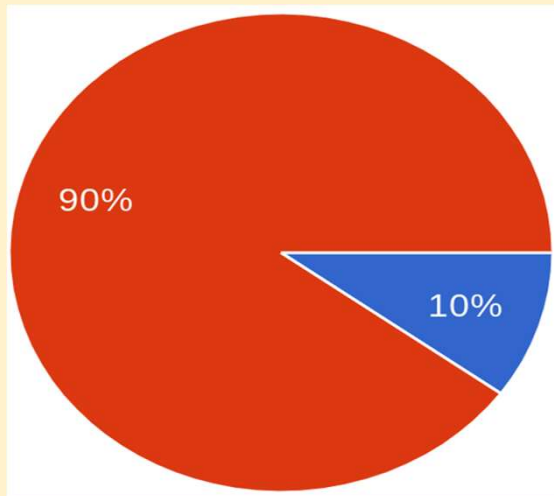
- ・ オンライン子育て相談を知っているか
- ・ 第3子以上の育児費用の助成を知っているか
- ・ 乳児全戸訪問事業・養育支援訪問を知っているか
- ・ 子育てシェアリング事業を知っているか
- ・ あればいいと思う子育て支援

アンケートの結果 1

1番知られていた支援事業

1年生

第3子以上の育児費用の助成

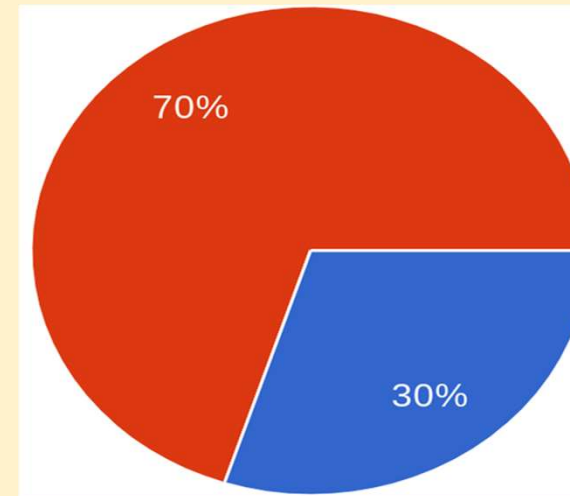


■ 知らない

■ 知っている

保護者

第3子以上の育児費用の助成

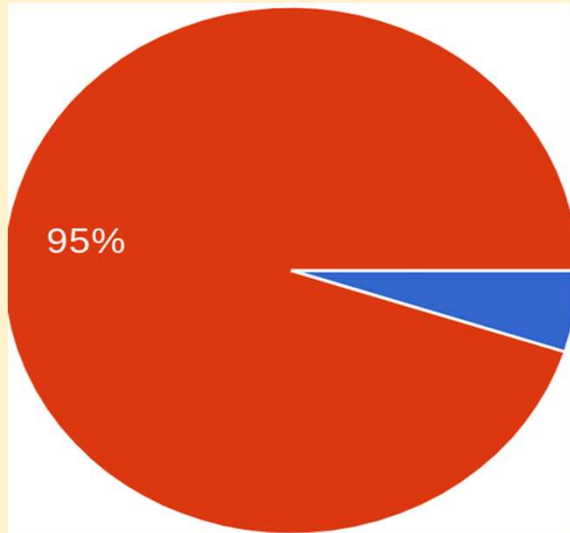


アンケート結果 2

1 番知られていなかった支援事業 ■ 知らない ■ 知っている

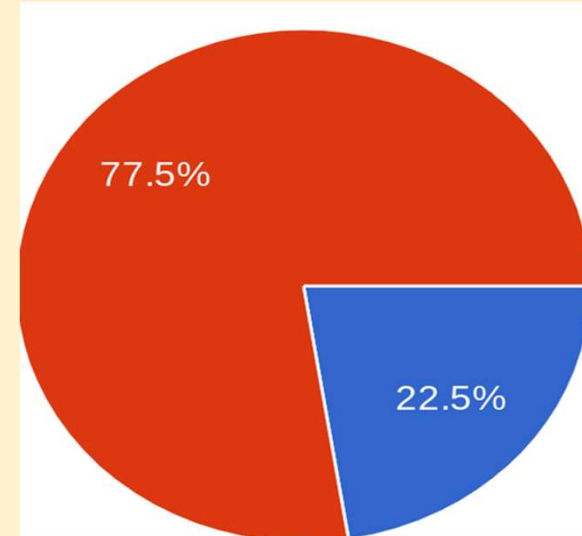
1 年生

オンライン子育て相談



保護者

乳児全戸訪問事業・養育支援訪問



アンケートの結果 3

あればいいと思う子育て支援

- ・ 助成金の援助（育児費用）
- ・ 障がいについて学べる場
- ・ 学童支援の充実
- ・ 男性の産休制度を簡単にする
- ・ シングルマザー、シングルファザーの支援 など

仮説

これらのことから、

さらにサービスを発展させ
湯沢市の保育サービスをもっと知ってもらう！

ことで、湯沢市の少子化対策に
繋がるのではないか？

さらにサービスを発展させるために

①アンケートで寄せられたように助成金の援助を増やす

湯沢市の保育サービスをもっと知ってもらうために

②どうしたらもっと知ってもらえるのか

この2つについて他の県ではどのような取り組みをしているのか調べてみた

①助成金について

島根県邑南町

・ 妊婦健診 16回まで無料

・ 2子目からの無条件での
保育料の全額助成

湯沢市

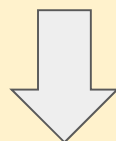
-
- ・ 妊産婦健康診査の助成はすでに実施
(一般健康診断16回・精密検査1回・
検査1回・
歯科健康診査1回・産後健康診査1回・
母乳外来3回・新生児聴覚検査1回)
 - ・ 第2子 所得に応じて全額助成
 -
 - ・ 第3子以降 所得制限なく第2子以降
全額助成
(湯沢市独自の上乗せ)

他の地域と湯沢市を比較して分かったこと

湯沢市よりも手厚く子育て施策を

行っている地域があった

またアンケートでは助成金の支援を求める声もあった



湯沢市もさらに金銭面の支援の充実を図るべき

②知ってもらう方法

福島県福島市

- ・子育てに関する各種制度の概要や施設の案内などのほか、子育てに役立つ情報をまとめた、**子育て支援ガイドブック「えがお」**をこども政策課・市役所・各支所、各学習センター等で配布
- ・PDF形式またはホームページからのダウンロードでも閲覧可能

新潟県新潟市

- ・新潟市の子育て支援制度、親子で遊べる場所、子育てサークルの紹介、保育園・幼稚園、相談窓口など、子育て支援の情報を掲載した**子育て応援パンフレット「スキップ」**を発行
- ・市役所、こども政策課、各役所健康福祉課、出張所、地域保健福祉センター、地区公民館、地域子育て支援センターなどで配布。
- ・電子書籍版、PDF版がある

以前は湯沢市でも子育てガイドブックを発行していたが現在は市のLINEやHPを通じた「ゆざわし子育てナビ」で情報を発信している。

ゆざわし子育てナビは項目の数が多かった



なにを見ればいいのか分からない人がいるかも知れない。だから大まかな内容をパンフレットに載せるといいのではないか

パンフレットを渡すタイミング

妊娠中に活用してもらえるような支援をまとめたパンフレット



母子手帳を渡すときにいっしょに渡す

出生後に活用してもらえるような支援をまとめたパンフレット



出生届を受理する時にいっしょに渡す

パンフレット (母子手帳)

- ・ 出生届について
- ・ 母子健康手帳の交付
- ・ 子育て世帯生活支援特別給付金 (ひとり親世帯)
- ・ 子育て支援センター
- ・ 不育症治療費の助成
- ・ 湯沢市病児保育室「はぐくみ」について

パンフレット（出生届）

- ・ 湯沢市出産おめでとう事業
- ・ 子育てクーポン券取扱店
- ・ チャイルドシート無料貸出
- ・ 子どもを預けたい
- ・ 湯沢市病児保育室「はぐくみ」について
- ・ 保育料及び副食費への助成



提案

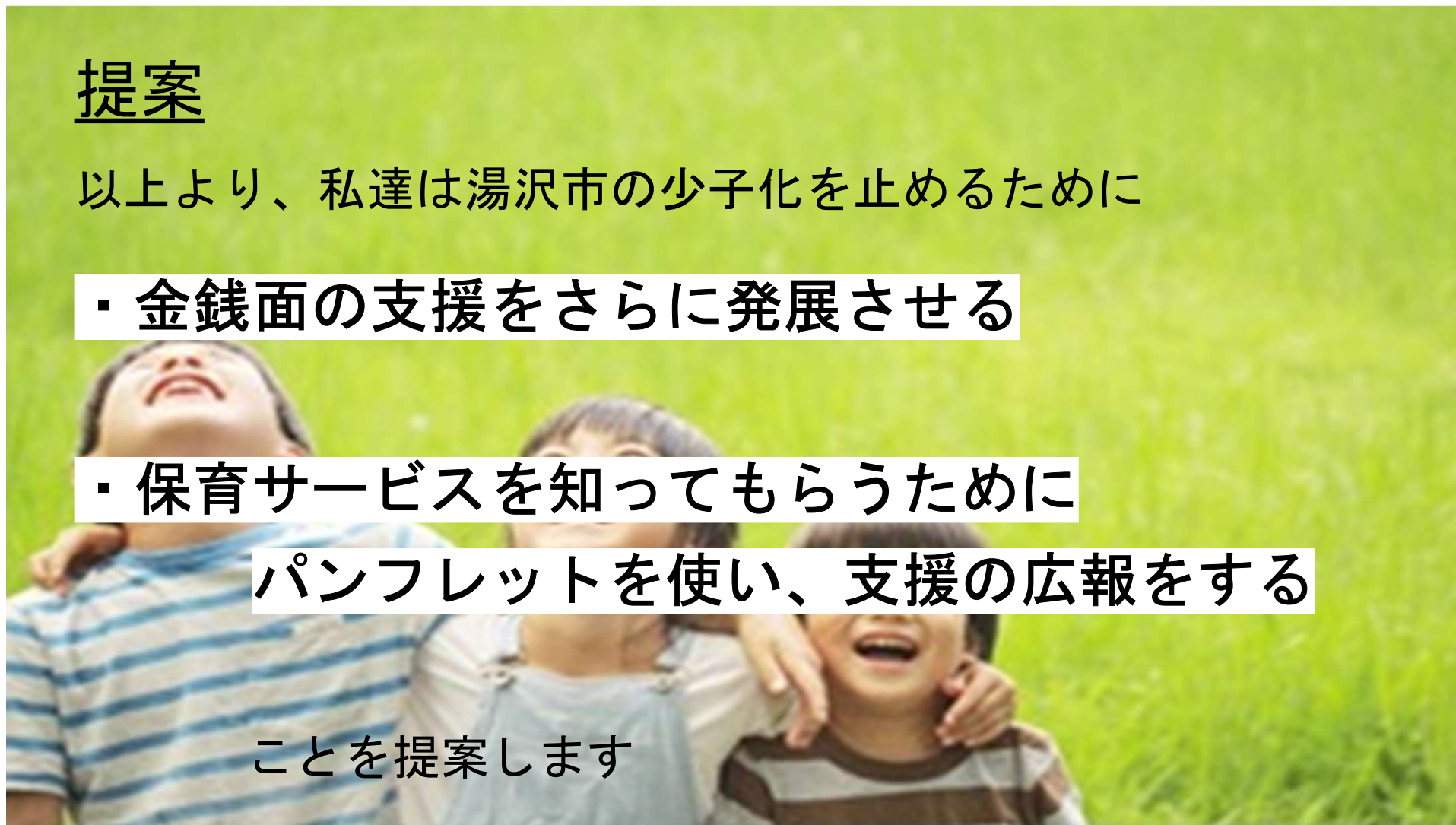
以上より、私達は湯沢市の少子化を止めるために

- ・ 金銭面の支援をさらに発展させる

- ・ 保育サービスを知ってもらうために

パンフレットを使い、支援の広報をする

ことを提案します



さらに

助成金・パンフレットの広告代の 財源についての提案

企業版ふるさと納税で結婚・出産・子育てプロジェクトを対象に寄付を募る。（湯沢市では企業版ふるさと納税をすでに導入している。）

そのお金を保育料の助成金に当てたり、パンフレットの広告代に当てたりする。

寄付してくれた企業には返礼としてその企業のPRを湯沢市で行う。（湯沢市の子育て世代や、中高生などに）

<企業版ふるさと納税のしくみ>

制度の意義



企業が寄附を行った動機

- ① 創業地や工場の立地する自治体の事業を応援したい。
- ② 「創立〇周年」を機に地域貢献を行いたい。
- ③ SDGs（持続可能なまちづくり等）の実現に取り組みたい。
- ④ かねてから自治体と関係が深く、事業の趣旨に賛同。
- ⑤ 首長等のトップセールスを受けて、事業の趣旨に賛同。
- ⑥ 被災した自治体を応援することで住民に希望を与えたい。

企業が寄附を行うメリット

- ① 地方創生に貢献する企業として公表・PR。
- ② 地方公共団体との新たなパートナーシップの構築。
- ③ SDGsを通じた企業の価値向上。

SDGsの17の目標のうち「11 住み続けられるまちづくりを」が地方創生に深く関連するだけでなく、各地方公共団体の取組も、その他の目標に関連するものが多くあります。特に企業版ふるさと納税の活用事例は「17 パートナーシップで目標を達成しよう」に通じるものです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



ふるさと納税で子育てしやすい町作りができる！

北海道上士幌町では、

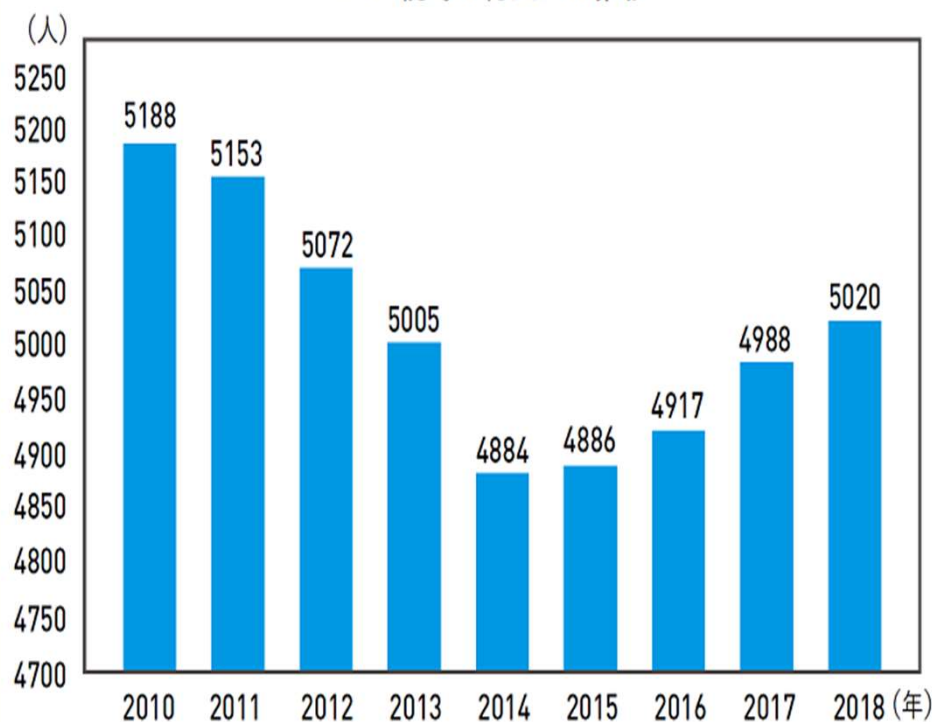
ふるさと納税で「子育て・少子化対策夢基金」を設立。

子育てに力を入れることで移住者を呼び込み、13年ぶりの人口増を実現した。

詳しくは

https://www.furusato-tax.jp/feature/a/katsuryoku_column-vol20

上士幌町の総人口の推移



提案のまとめ

企業版ふるさと納税を活用して
子育て支援の金銭面をさらに発展させる
こと、保育サービスをより多くの人に、
より分かりやすく知ってもらうために
パンフレットによる広報を提案します